

株式会社つばさ

あいんこ保育園の保育

Q

A

保育に関する私たちの考え方と取り組み、
子どもたちの生活風景、行事や食事などをご紹介します。



はじめに

保護者の皆さま、ならびに地域の皆さまにおかれましては、日頃よりありんこ保育園の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ありんこ保育園は2021年度に福祉サービス第三者評価を受審いたしました。お寄せいただいた利用者調査の結果では「大変満足」「満足」が合計で95.2%の回答率となっており、多くの保護者様に満足していただけている状況が確認されました。

そこで、さらなる保育サービスの向上に向け、私たちが実践する「保育」の考え方について積極的にお伝えし、より理解を深めていただけるよう、評価結果報告書（カテゴリー6）を読みやすく再編集した「Q&A版・評価結果報告書」を作成いたしました。

この報告書は、「生活リズム・生活習慣」「行事」「食事・食育」等の視点に沿って、福祉サービス第三者評価で確認された内容を写真（エビデンス）付きで掲載しております。

ぜひ、ご覧いただきますとともに、今後とも、子どもの成長を共に見守る関係づくりに向けより一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2022年7月1日
株式会社つばさ ありんこ保育園
園長 鈴木 聖子



1 子どもの受け入れ	①保育室の生活環境 ②価値観を広げる取り組み ③配慮を要する子どもの受け入れ ④子ども同士のトラブル ⑤就学に向けた支援
2 生活習慣	①園生活の連絡・報告 ②生活習慣を身につけるための教育 ③生活リズム・午睡
3 活動内容	①室内での遊び・学び ②戸外での遊び・学び
4 特別活動	①行事内容 ②保護者の行事参加
5 長時間保育	①長時間に対応する環境づくり
6 食事	①献立と食事環境 ②食育活動 ③アレルギー対応
7 健康管理	①安全教育・健康指導 ②健康管理およびけが・病気への対応 ③SIDS 及び感染症への予防策
8 保護者支援	①関係づくり ②情報提供・相互理解
9 地域交流	①地域や多様な人々とのふれあい

※紹介する項目は東京都福祉サービス第三者評価「サービスの実施項目（カテゴリー6-4）」に準じています。

1 子どもの受け入れ

① 保育室内の生活環境

Q：子どもが生活する園内はどのような環境ですか？

A：室内環境は少人数保育園らしさを活かして家庭的で温かい雰囲気を作られ、子どもの状況に合わせて、自らが玩具を選んで遊び、片づけられるような環境になっています。0～2 歳児室は低い玩具棚を活用してクラス分けがされていますが、保育士は全体を見渡すことができ、連携した保育がなされています。3～5 歳児室は絵本コーナーに畳風のマットが敷かれています。



1 子どもの受け入れ



② 価値観を広げる取り組み

Q：子ども同士の交流をどのように育てていますか？

A：3～5 歳児は日常的に異年齢で過ごし、隣接する公園を園庭替わりに使用し、全年齢が一緒に遊べる場になっています。

3～5 歳児は戸外への移動の際に 0～2 歳児のところに立ち寄り、関わる姿が見られています。担任同士の話し合いの中で、一緒に散歩へも行っています。



Q：外国文化や国内各地の文化に触れる機会を設けていますか？

A：異文化に触れる機会としては絵本や紙芝居のほか、外国籍の子どもたちの言葉からもさまざまな情報を得ています。また国内各地の文化に親しむ機会として、掲示物や郷土食なども活用しています。



1 子どもの受け入れ

③ 配慮を要する子どもの受け入れ

Q：配慮を要する子どもの受け入れはしていますか？

A：特別な配慮が必要な子どもの支援については、他の子どもたちと一緒に過ごす中で互いに刺激し合い、共に成長していけるように支援しています。市の専門機関による巡回指導を通してアドバイスを受け、支援に活かしています。

④ 子ども同士のトラブル

Q：子ども同士のトラブルに対してどのように対応していますか？

A：発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、互いの話を聞き気持ちに寄り添い、仲立ちや見守りの中で自ら解決できるように導いています。噛みつきなどを未然に防ぐために全職員で状況を共有し、環境の見直しや職員配置を考慮しています。

⑤ 就学に向けた支援

Q：小学校への円滑な接続に向けてどのような支援を行っていますか？

A：就学に向けては学校訪問を実施し、授業見学や図書室など施設見学をしています。



2 生活習慣



① 園生活の連絡・報告

Q：日々の子どもの様子はどのように教えてもらえますか？

A：降園時には日中の健康面やエピソードを口頭で保護者へ伝えていきます。夕保育の時間には担任から当番保育士に、引き継ぎノートや口頭で引き継ぎ、保護者へ確実に伝えていきます。またクラスの活動の様子は、ホームページの今日の保育や口頭で伝えていきます。ケガなど特別なことは、担任が直接伝えるようにしています。



Q：子どもの様子についてどのように把握していますか？

A：日々活動の様子や成長状況については、日誌に記録しています。登園時には視診とともに連絡ノートの内容と保護者との会話で、前日からの家庭での様子や体調などについて確認しています。朝保育で得た保護者からの連絡や子どもの様子は引き継ぎ記録に記載し、クラス担任に引き継いでいます。



2 生活習慣

② 生活習慣を身につけるための教育

Q：生活習慣を身につけるためにどのような教育を行っていますか？

A：基本的な生活習慣については保護者懇談会や個人面談、送迎時の会話などでその大切さを伝えるとともに、家庭での様子を確認しています。年齢ごとの目安や自立に向けた取り組みを説明し、家庭と連携した支援をしています。排せつについては、1～2歳児から一人ひとりの間隔を把握してトイレに促しています。着脱については、汚れた際の着替えや午睡時の着替えなどで身につくようにしています。箸については、ボタンかけも含めて指先を使う玩具を準備し、遊びの中に取り入れながら順次指導しています。2歳児以上は食後に歯磨き指導を実施しています。



2 生活習慣

③ 生活リズム・午睡



Q：午睡の実施方法を教えてください。

A：午睡は年齢や発達に合わせて基本的な入眠時間や長さを決めています。連絡帳や保護者との会話で把握した子どもの健康状態、家庭での生活リズムを考慮し、一人ひとりの状況に合わせて調整しています。



Q：午睡に関して配慮している内容について教えてください。

A：眠れない子については絵本コーナーや机上遊びで過ごしています。就学へ向けた5歳児の午睡については、5月連休明けよりなくしています。午睡をなくしてからの活動としては保育室で机上遊びや制作、ひらがなのワークなどで静かに過ごしています。また読書や塗り絵など、一定時間椅子に座る時間を設けています。



3 遊び・学び



① 室内での遊び・学び

Q：テーマを持ったコーナーを設けていますか？

A：乳児・幼児とも、年齢や発達に合わせたコーナーを設置しています。1日の生活の中で自由遊びの時間も設定され、好きな玩具を選んで自由に遊べるようにコーナーを設定しています。ブロックなどの構成遊びは期間を決めて保管し、継続した遊びができるように配慮しています。生活や遊びなどを通してルールなどについて朝の会を活用して話す機会を作っています。CAP(子どもがいじめ・虐待・体罰など、さまざまな暴力から自分の心とからだを守るためのプログラム)も取り入れ、自分自身の気持ちのコントロールができるようにしています。

Q：遊びや学びにどのような工夫を取り入れていますか？

A：乳児期から年齢や個別に応じた働きかけなどで発語を促しています。各クラスには絵本が設置され、自由に好きな絵本を楽しめるようにしています。職員との言葉のやり取りから友だち同士の会話へとつなげ、自分の気持ちを言葉で表現することの大切さを伝え、ふわふわ(気持ちがよくなる) やちくちく言葉(言われると嫌な気分になる)についての話し合いの時間も持って、友だちとの関わりをより楽しめるようにしています。表現活動としては、音楽リズムやリトミック遊び、絵の時間などや、空き箱などの素材を使った作品作りなども取り入れています。



3 遊び・学び



② 戸外での遊び・学び

Q：戸外ではどのような遊びをしていますか？

A：近隣には公園がたくさんあり、目の前の公園は朝夕園庭替わりに使うなど、積極的に戸外遊びを取り入れています。3～5歳児は月3回、電車で山に出かけ一日中遊び込む「森の教室」を実施しています。



Q：園生活ではどのような動植物にふれることができますか？

A：公園(落ち葉や木の実拾い、花摘み、虫探し、斜面登りなどの活動)も含め、「森の教室」(自然の中で昆虫や小動物に出会い、木の実をもぎ、小川や沼の生き物に触れる)では年間を通して3か所に出かけることで、季節の移り代わりを体感しています。園庭ではトチノキ、カキ、ジューンベリー、キンカンなどの植物や亀、金魚などの生き物に触れられます。

4 特別活動

① 行事内容



Q：子どもが体験できる行事について教えてください。

A：日本の伝統的な七夕や節分、ひな祭り、成長を感じられる運動会や発表会、季節を感じられる夕涼み会やお月見、クリスマス、餅つきなどさまざまな行事を実施しています。またお店屋さんごっこや遠足、毎月個別の誕生日会なども実施してます。子どもが無理なく興味を持って楽しく取り組めるように配慮しており、お店屋さんごっこや夕涼み会では商店街を見学して参考にし、やりたいお店を決め、売るものを話し合い、作ったお金で買い物のやり取りを楽しんでいます。



Q：誕生日会ではどのようにお祝いしていますか？

A：誕生日会には保護者も参加し、絵本や手作り誕生日カードをプレゼントしています。赤飯や手作りケーキの提供もしています。保護者が参加しない行事は、写真や動画をホームページで紹介し、生き活きと活動している様子を伝えています。

Q：行事ではどのような工夫をしていますか？

A：運動会は小学校の校庭(雨天体育館)を借りて実施しています。外部講師による体育教室を活かして、組体操など年齢に合わせて取り入れています。また、卒園児から保護者まで全員が参加する「パン食い競争」が伝統になっており、保護者も楽しみにしています。5歳児と1年生が参加する「お泊り会」は土日に一泊二日で、山登りやキャンプファイヤー、川遊び、マ스つかみ、すいか割りを楽しんでおり、1年生との関わりの中で親元を離れて過ごす貴重な体験となっています。発表会は演目や役、小道具作りなど子ども同士で話し合った内容で発表をしています。



4 特別活動

② 保護者の行事参加



Q：保護者参加の行事開催に際し、どのような配慮をしていますか

A：保護者参加の行事予定は年度初めに保護者に配布したり、ホームページに掲載するとともに、保護者参加の行事の前には、園だよりなどで日程の案内や簡単な内容などを知らせ、保護者の理解を得られるようにしています。当日は行事を通して子どもの成長を感じてもらい、職員と喜びを共有しています。



Q：園内行事の子ども様子はどのように知らせてくれますか？

A：保護者が参加していない活動については、ホームページの写真や動画・園だよりなどの各種便りで伝えています。

5 長時間保育



①長時間に対応する環境づくり

Q：長時間にわたる保育でも子ども達が安定して過ごせるよう配慮していますか？

A：長時間保育の中でゆっくり落ち着いて過ごせるように、保育室の床やロッカー・棚は無垢材を使用し、室内装飾は最低限にしています。カーペット・畳を活用し、家庭的な温かい雰囲気作りを心掛けています。夕保育の時間には、トランプやパズルなどじっくり取り組める玩具を準備し、日中とは違う遊びができるように配慮しています。長い一日の中でクラスの活動から離れて一人になりたい子どもへの配慮としては、ままごとハウスの中や時には絵本コーナー、平均台、木製のベンチで休息することができ、気分転換してクラスに戻れるように配慮しています。



Q：延長保育ではどのような配慮をしていますか？

A：18 時からの延長保育時間は、落ち着いた時間の中で人間関係の形成や言語の発達を促す機会と捉え、職員が絵本の読み聞かせをしたり、1対1の関わりを大切にしています。テレビやビデオは設置していません。異年齢と過ごすこの時間は、年上の子が年下の子と遊ぶ姿が見られ、思いやりや憧れの気持ちが育まれています。朝夕保育の当番保育士はシフト制ですが、小規模園であることから日頃から関わりがあり、補助職員(パート)も同じ職員が担当し、顔なじみの中で安心して過ごせるようにしています。

6 食事・食育



①献立と食事環境

Q：給食はどのような献立になっていますか？

A：給食は季節の旬の食材をとり入れ、栄養に配慮した給食を提供しています。できるだけ添加物を使わず、素材の旨味を生かした薄味の味付けをしています。クラスごとに喫食状況を確認し、その後の食事提供に反映させています。リクエストメニューや行事食に合わせた献立も提供しています。行事の内容に合わせて野菜の飾り切りや盛り付けを工夫し、見た目も楽しい給食を心掛けています。

Q：どのような環境で食事していますか？

A：0～2歳児は個々のリズムに合わせ、順次食事がとれるように配慮しています。3～5歳児はグループごとにテーブルに季節の花を飾り、会話を楽しみながら食事をしています。椅子やテーブルは年齢や発達に合わせて使用し、正しい姿勢で食べられるようにしています。また、幼児クラスでは週に一度バイキング(自分で食べられる量を盛り付け)を楽しんでいます。そのほかに、年数回「弁当の日」を設け、家庭でお弁当を作ってきてもらい公園で食べたり、「森の教室」では弁当箱を持ってきてもらい、自分で作ったおにぎりや園の給食を詰めて持っていきます。



6 食事・食育

②食育活動



Q：食育活動では具体的にどのような取り組みを行っていますか？

A：定期的に栄養士による食育指導の時間を設け、食具の使い方や食のマナー、栄養について伝え、食への関心が持てるようにしています。野菜の皮むきや給食食材の下処理の手伝い、3～5歳児はクッキング(肉まん・うどん・ピタパンサンド・カレーライスなど)も実施しています。野菜の栽培は、近隣の小学校の菜園や園にあるプランターでミニトマト・ピーマン・キュウリ・ナス・カブ・小松菜などを栽培しています。収穫した野菜や果実は給食で提供しています。田んぼでは、餅米の田植え、稲刈り、脱穀を体験し、餅つきに活用しています。



6 食事・食育

③アレルギー対応



Q：食物アレルギー児への対応はどのようにしていますか？

A：食物アレルギーのある子どもについては代替食を用意し、専用のトレイや食器を使用し、担任と調理でダブルチェックを行ない、誤食を防いでいます。

7 健康管理



①安全教育・健康指導

Q：安全に関してどのような教育を行っていますか？

A：身の回りの危険を伝え防止するために、毎月の避難訓練(消防士による消火訓練など)や、散歩に出かけた際には道路の歩き方などの交通ルールを話しているほか、遊具の使い方についてはその都度話をしてから遊びに入っています。

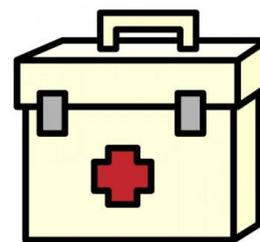
Q：健康管理の指導をどのように行っていますか？

A：健康については保健計画に沿って、うがい手洗いや歯磨き指導などを実施しています。季節ごとの注意事項や生活リズムなどは、クラスごとに担任がわかりやすく伝え、自身の健康について関心が持てるように取り組んでいます。
積極的な戸外活動(散歩や自然の中で体験)や体育教室を通して、丈夫な体づくりにも取り組んでいます。



7 健康管理

②健康管理およびけが・病気への対応



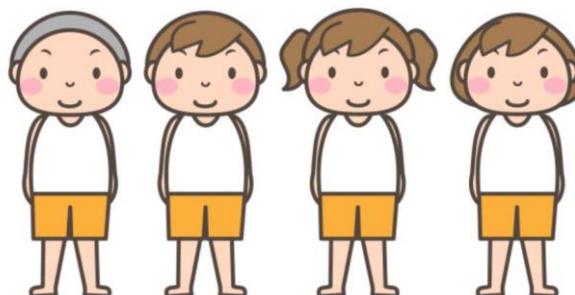
Q：子どもの健康管理はどのように行っていますか？

A：嘱託医による定期健康診断(0、1歳児は年6回、2～5歳児は年2回)、年1回の歯科検診、毎月身体測定を実施し、子どもの健康管理に努めています。医療的ケアが必要な子どもについては、専門機関との連携や保護者とも話をして、園での適切な対応をしています。

Q：どのような症状について薬を預かってもらえますか？

A：与薬は基本的に行なっていませんが、医師の指示により必要な時には投薬届を提出してもらい預かり与薬をしています。職員は、自動体外除細動器(AED)やアナフィラキシー緊急補助治療に使用する緊急用キットの使い方を救急救命講習や研修で学び、緊急時に備えています。

身体測定



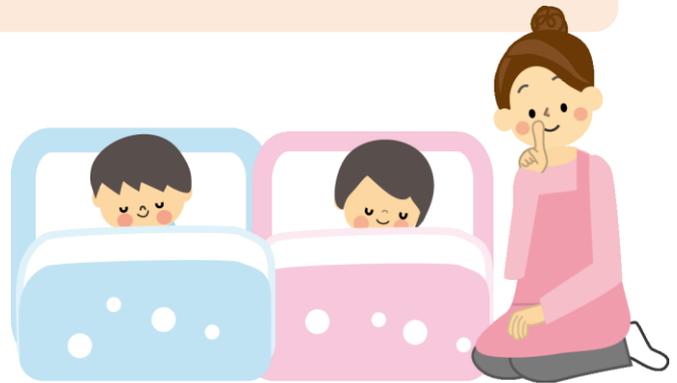
7 健康管理



③SIDS 及び感染症への予防策

Q：健康管理や SIDS 対策にどのように取り組んでいますか？

A：乳幼児突然死症候群(SIDS)については、入園時に保護者へ伝え、園では 0 歳児はベビーセンサーの使用と午睡チェック(0 歳児は 5 分毎、1、2 歳児は 10 分毎)を実施し、呼吸や体位を確認しています。



Q：感染症予防に向けてどのように取り組んでいますか？

A：入園時に保護者に配布している「園のしおり」には、登園の目安の参考にする、感染症や医師の意見書または保護者の登園届が必要な感染症の一覧を添付しており、入園時に説明しています。保健だよりでは子どもの健康や季節に流行する病気などについて伝えています。園内で感染症が発症した時には、速やかに掲示し注意喚起しています。

8 保護者支援



①関係づくり

Q：保護者どうしの交流をどのように促していますか？

A：園の行事(夕涼み会や運動会、発表会など)への参加や保護者懇談会などで、保護者同士が交流する機会を設けています。保護者懇談会(年3回)では担任から話題を投げかけ、話しやすい雰囲気を作り、保護者からの育児についての悩みなどを話してもらい、先輩保護者からのアドバイスも受けられる機会を設けています。また年1回、個別の誕生日会の日に保育参加も実施しています。そのほか、父母会として「ありんこクラブ」が活動しており、役員や運営委員を選出し、園の行事などの手伝いをしてもらっています。

Q：保護者とは、どのように信頼関係を深めていますか

A：子どもの様子は連絡帳やホームページを活用し、写真にコメントを添えて配信しています。送迎時にはできる限り一人ひとりに声かけし、保護者との会話を大切にしています。保護者懇談会や個人面談では、成長の目安に加え、現状の様子を伝え、保護者と共通認識を持てるように努め、信頼関係を構築しています。



8 保護者支援



②情報提供・相互理解

Q：保護者の状況や意向はどのように把握していますか？

A：保護者の就労など個々の事情については入園時に聞き取り、基本的な保育時間を決めていますが、急な時間変更にも柔軟に対応しています。日常的なサービスに係る保護者の意向は、行事や保育アンケートを実施し、把握しています。

Q：子育ての考え方について互いの理解を深める取り組みはありますか？

A：連絡帳のやり取りや会話、保護者懇談会や個人面談などで子どもの成長の目安と現状の様子を伝え、発達や育児などについて保護者と共通認識を持つ取り組みをしています。園だよりやクラスだよりでは年齢ごとの子どもの成長の様子や目安などを伝え、共に育てる姿勢を示しています。保育参加では子どもの様子と保育士の関わり方を通して、育児の参考になるようにしています。また子育てセミナーや親子料理教室などを開催し、保護者の養育力向上に向けた取り組みもしています。



9 地域交流

① 地域や多様な人々とのふれあい



Q：地域環境を活かした活動はありますか？

A：近隣のさまざまな公園を活用した散歩や、近郊の自然を活かした「森の教室」に出かけ、四季折々の植物や昆虫に触れたり、体を十分に動かして遊んでいます。

図書館ではお話会への参加や、絵本や紙芝居を借りています。児童館には雨の日などに出かけ、ボール遊びなどで利用させてもらっています。

また、地域の老人会の方を園の行事へ誘ったり、高齢者施設と年3回交流する機会を設けています。さらに商店街にはお店屋さんごっこをする際に見学させてもらっており、さまざまな地域資源を活用し、多様な体験や交流する機会を設けています。

Q：普段の園生活で職員以外の人とふれあう機会がありますか？

A：子どもが職員以外の人と交流できる機会としては上記施設との交流のほか、園の行事(夕涼み会、運動会、餅つき、昔遊びの会)へ地域の方を招待しています。地域の農園や田んぼでは稲刈りや芋ほり体験をしています。

子育て支援事業として「森の音楽会」を実施しており、来園した在宅子育て家庭の親子と一緒に遊ぶ機会(歌や手遊び)を設けています。

そのほか、保育実習生を3名、ボランティアとして小学・中学・高校生や一般の方など多数受け入れをしています。職場体験としては中学校3校12名を受け入れ、職員以外の人と交流する機会を設けています。





< 発行 > 株式会社つばさ ありんこ保育園